

令和3年度

事業報告及び収支決算書

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人 中山道広重美術館

目 次

第 1 号議案 令和 3 年度 事業報告書及び附属明細書

1 事業概要	2
2 理事会に関する事項	5
3 評議員会に関する事項	5
4 登記事項	6
5 役員に関する事項	6
6 評議員に関する事項	7
7 職員に関する事項	7

第 2 号議案 令和 3 年度 決算報告書（財務諸表）

1 貸借対照表	9
2 正味財産増減計算書	10
3 財務諸表に対する注記	14
4 財産目録	16
5 その他の明細書	17
6 監査報告書	19

第 1 号議案

令和 3 年度

事業報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

公益財団法人 中山道広重美術館

I 事業報告

1 事業概要

定款の定めるところにより、地域の学術及び芸術文化の振興、まちづくり活動の推進に寄与するため、次の事業を実施するとともに、中山道広重美術館の施設の維持管理を行った。

新型コロナウイルス感染拡大が収まらない中、当公益財団法人は恵那市から中山道広重美術館の指定管理業務を受託して7年目を迎え、開館20周年に当たり、歌川広重の作品を中心とする質の高い浮世絵版画の展示や、体験・学習などの仕組みを通して、来館者により大きな感動と満足感を持ち帰っていただけるよう努めた。

館の運営面でまず特筆すべきは、地元の企業3社に観覧料相当額をご負担をいただき、フリーライダーとして毎週金曜日の観覧料を無料とするスポンサー制度が10月には5年目を迎え、コロナ禍にあって大変厳しい経営状況の中でも3企業様から変わらぬご支援をいただくことができ、市民や旅行者にも事業の趣旨が浸透し、金曜日の観覧入場者は、2,492人と全体の25%であった。なお、新たな3社からスポンサー制度の応募があり、3月31日にスポンサー協定締結式を行い、令和4年4月から、フリーウエズデーと称して毎週水曜日にも観覧料を無料とすることができた。

続いて展示事業では、春の特別企画展として、広重が描く温かくも鋭い観察眼に裏打ちされた臨場感あふれる人物描写にスポットを当てた「ゆる旅おじさん図譜リターンズ」を開催した。8月26日からは、開館20周年を記念した秋季特別企画展「浮世絵木曾街道三種揃踏」を12月5日まで計画したものの、緊急事態宣言に伴う新型コロナ感染拡大予防措置により、8月23日から9月30日までを長期休館としたことや、1月21日から3月21日までのまん延防止特別措置などにより、入館者は激減となった。

教育普及事業では、「浮世絵×広重－広重の画業とその周辺－」と題した連続6講座を計画し、すべて開催することができた。また、1名の学芸員実習生の受け入れを行うとともに、第18回広重賞子ども版画コンクールを市内各学校の協力を得て開催、版画制作の授業に応援講師を派遣する制度では、4校へ延べ12人の版画経験講師を派遣し、各子ども園及び小中学校から**2,718点**の作品応募があった。収益事業においても、開館20周年記念事業として、図録「浮世絵木曾街道三種揃踏」を2千冊発刊しネットショップを中心に販売した。しかしながら、今年度も新型コロナウイルス拡散防止による休館指示やバスツアーの中止などでの影響は甚大で、年間観覧入場者数は**9,889人**と、前年度を下回った。

1. 展示事業

① 特別企画展・特別展観

	事業名	事業概要	開催期間
1	ゆる旅おじさん図譜リターンズ	浮世絵風景画の名手として名高い歌川広重。彼の作品には街道を往来する大名行列や旅人、あるいはその土地で暮らす人々が登場してる。広重の温かくも鋭い観察眼に裏打ちされた臨場感あふれる人物描写と彼の生きた時代の息吹を堪能 2,255人	前期:4月1日(木)～5月9日(日) 後期:5月13日(木)～6月13日(日)
2	開館20周年記念 －浮世絵木曾街道三種揃踏－	江戸時代後期に活躍した歌川国貞(三代豊国)、歌川広重、歌川国芳がそれぞれに描いた木曾街道(中山道)の揃物3種を3期に分けて一挙公開。歌川派の三大人気絵師による豪華揃踏み 3,755人	前期:10月1日(金)～10月31日(日) 中期:11月3日(水.祝)～12月5日(日) 後期:12月9日(木)～1月16日(日)

② 企画展

	事業名	事業概要	開催期間
1	諸国山巡り－山海見立相撲お披露目－	国土の大部分を占める山々は人々に四季折々の表情を見せるだけでなく、豊かな恵みをもたらしてきた。広重の手によって色鮮やかに表された山の風景を紹介した。 676人	6月17日(木)～7月18日(日)
2	華の都江戸－名所江戸百景名品選－	広重晩年の傑作《名所江戸百景》の画面いっぱいに描かれた作品は、日本だけでなく世界的に知られた作品である。本揃物の中から特に有名な作品を中心に紹介した。 1, 142人	7月22日(木・祝)～8月22日(日)
3	東西広重名所絵尽くし 中止	東の江戸に西の京都。東海道や中山道で結ばれた東西の都は多くの旅人たちが夢見た場所。思わず旅情をかき立てられる東西の絶景を紹介予定だった。	コロナ緊急事態宣言により、秋季特別企画展「木曾街道三種揃踏」の開催を延長したことによりこの企画展を中止した。
4	広重円熟期の画業－錦絵から絵本まで－	保永堂版《東海道五拾三次之内》で一躍有名になった広重が精力的に活動した嘉永年間の作品を中心に紹介した。 607人	1月20日(木)～2月20日(日)
5	はるかかなたを思い描く －六十余州名所図会から－	広重は必ずしもすべての場所を直接訪ねておらず、画面を再構築し「実景らしく」描き出しました。その構図作りの妙を紹介した。 1, 418人	2月23日(水・祝)～3月27日(日)
6	令和4年度 実施展覧会の企画準備。		
7	令和5年度 企画展に関する調査、研究を実施。		

2. 教育普及事業

	事業名	内 容	時 期
1	連続講座 (全6回) 「浮世絵×広重－広重の画業とその周辺－」	私たちが魅了してやまない広重の作品は、どのようにして生み出されたのか。また彼はいかにして同時代絵師や錦絵風景画以外のジャンルと交わったのかを6人の講師が紹介した。	4/10(土) 浅野 秀剛氏 5/15(土) 大久保 純一氏 6/12(土) 岡野 智子氏 10/9(土) 菅原 真弓氏 11/6(土) 渡邊 晃氏 12/4(土) 長井 裕子氏
2	学芸員実習の受け入れ	学芸員資格取得希望の学生等を対象に、学芸員実習の受け入れを行い、千葉大生 1人 が受講。	8月11日(火)～15日(日)
3	当館学芸員による出前講座	当館学芸員が恵那高校へ出向いて美術・浮世絵の説明解説を行った。	8月18日(水) 12月21日(火)
4	ゆかたで涼む美術館 (夜間開館)	中央通り商店街夏祭りに合わせたイベント	コロナ禍イベント中止
5	夏休み親子無料イベント	コロナ禍の夏休み期間中に親子で入館された保護者を入館無料とした。	414人の親子が来館

6	こども版画コンクール応援講師の派遣	こども版画コンクールへの参加作品制作授業へ版画経験講師を応援派遣した。 延べ 13人 を派遣	10/8. 11/17三郷小4年 12/15. 1/13山岡こども園 12/17. 1/14大井こども園 1/14 中野方小 4校
7	第18回広重賞こども版画コンクールの開催	自分の住むまちのよさや、ふるさとへの愛着をテーマとしたこども版画コンクールを開催 応募総数 2,718点 特別賞17点、奨励賞28点、入選123点	2月25日(金)～3月13日(日)作品展 3月6日(日)表彰式(広重賞ほか16特別賞のみ)

3. その他の事業

1	5年目を迎えた「スポンサー制度」は、(株)銀の森コーポレーション、木曾路物産(株)、(株)サラダコスモの3社企業様に観覧料相当の金銭的負担をいただき金曜日に実施。1年間の金曜日の観覧入場者は 2,492人 、 総観覧者9,889人の25%を占めた 。制度5年の節目に当たり、12月16日理事長・副理事長がスポンサー各社へお礼訪問を行った。また新たなスポンサーとして、(株)三菱UFJ銀行、ナカヤマ・グループ、(株)デジタの3社が決定し、3月31日に4月から毎週水曜日の観覧料を無料とするスポンサー協定締結式を実施。スポンサー企業は計6社となった。
2	開館20周年記念図録「浮世絵木曾街道三種揃踏」の発刊 2千冊
3	財団の美術作品取得資金積立(目標額:1100万円)

4. 収益事業(収益事業等会計)

ミュージアムショップ運営

- (1) 美術館関連商品を販売した。
- (2) 展覧会関係グッズ、図録を販売した。
- (3) インターネットによるグッズ・図録販売のネットショップ販売

5. 管理事業(法人会計)

- 1 理事会・評議員会を適切に運営した。
- 2 公益財団法人を適切に運営した。
- 3 美術館の施設を適切に管理した。

2 理事会に関する事項

会議名	開催(議決)年月日	件名	
第1回理事会	令和3年5月21日	第1号議案	美術作品取得資金取扱規程の承認について
		第2号議案	令和2年度事業報告及び附属明細書の承認について
		第3号議案	令和2年度収支決算書の承認について
		第4号議案	事業報告等に係る定期提出書類の承認について
		第5号議案	定時評議員会招集について
		報告 1	役員職務執行状況及び事業経過諸報告
第2回理事会	令和3年10月8日	第1号議案	美術館就業規程の変更について
		報告	①令和4年度事業計画(案)について ②中山道広重美術館スポンサー制度継続について ③役員職務執行状況及び事業経過諸報告
第3回理事会	令和4年3月4日	第1号議案	中山道広重美術館職員の給与等に関する規程の変更について
		第2号議案	電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について
		第3号議案	令和4年度事業計画書の承認について
		第4号議案	令和4年度収支予算書の承認について
		第5号議案	令和4年度資金調達及び設備投資に係る見込みについて
		報告	①役員職務執行状況及び事業経過諸報告 ②次回の理事会・評議員会の招集(案)について ③館長の交代及び嘱託学芸員の採用報告

3 評議員会に関する事項

会議名	開催(議決)年月日	件名	
定時評議員会	令和3年6月9日	報告 1	令和2年度事業報告について
		第1号議案	令和2年度収支決算書の承認について
		第2号議案	評議員の選任に関する承認について
		第3号議案	監事の選任に関する承認について
		報告	①令和3年度事業計画及び収支予算について ②美術作品取得資金取扱規程の制定について

4 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
令和3年6月9日	岐阜地方法務局中津川支局	評議員・監事の氏名の変更	令和3年6月24日

5 役員に関する事項

役職名	人数	氏名	就任年月日
理事長	1	長谷川 佳子	平成24年 4月 1日就任
副理事長	1	永谷 茂美	平成24年 4月 1日就任
専務理事	1	千藤 秀明	平成30年 6月 7日就任
理事	11	市川 彰	令和 2年 6月 9日就任
		大塚 康芳	平成24年 4月 1日就任
		小川 智明	令和 2年 6月 9日就任
		小椋 日南恵	平成28年 6月 2日就任
		瀬瀬 満	平成27年 6月19日就任
		小嶋 初夫	令和 2年 6月 9日就任
		鷹見 健司	令和 元年 6月 7日就任
		西尾 重人	平成24年 4月 1日就任
		西部 良治	令和 2年 6月 9日就任
		原 淑子	平成28年 6月 2日就任
		長谷川 英司	平成30年 6月 7日就任
監事	2	加藤 元章	令和 3年 6月 9日就任
		柘植 麻美	平成24年 4月 1日就任

6 評議員に関する事項

役職名	人数	氏名	就任年月日
評議員	13	阿部 伸一郎	平成28年 6月 2日就任
		安藤 俊幸	平成30年 6月 7日就任
		井口 英一	平成24年 4月 1日就任
		市川 祥子	平成28年 6月 2日就任
		大塩 康彦	平成25年 5月29日就任
		小板 幸光	平成28年 6月 2日就任
		各務 一彦	令和 2年 6月 9日就任
		中島 克子	令和 2年 6月 9日就任
		鈴木 隆一	平成26年 6月 6日就任
		福井 敏彦	令和 3年 6月 9日就任
		西尾 康久	平成24年 4月 1日就任
		長谷川 幸洋	令和 2年 6月 9日就任
		槇島 春枝	平成24年 4月 1日就任

7 職員に関する事項

区分	氏名	担当	就任年月日	備考
美術館長 (嘱託・事務局長)	千藤 秀明	統括	平成30年4月1日	
嘱託職員	牧野 直美	総務係長	平成24年4月1日	
嘱託職員	中垣 絵理	学芸員	平成24年4月1日	
嘱託職員	中村 香織	学芸員	平成27年1月1日	
嘱託職員	窪田 聡美	デザイナー	平成25年4月1日	
嘱託職員	宮下 真子	案内・ショップ	令和2年4月1日	
臨時職員	河西 碧美	案内・ショップ	令和3年4月1日	

8 事業報告書附属明細書

令和3年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。

第 2 号議案

令和 3 年度

収 支 決 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 中山道広重美術館

貸借対照表
令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許保管	161,500	161,500	0
現 金	21,122	0	21,122
普通預金	15,440,388	16,505,748	△1,065,360
現金預金合計	15,623,010	16,667,248	△1,044,238
未収金	177,657	64,972	112,685
立替金	18,847	23,987	△5,140
貯蔵品	11,481,460	8,351,189	3,130,271
他会計貸付金	397,075	361,790	35,285
流動資産合計	27,698,049	25,469,186	2,228,863
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	110,926,800	113,000,200	△2,073,400
美術作品	10,153,350	10,153,350	0
基本財産合計	121,080,150	123,153,550	△2,073,400
(2) 特定資産			
美術作品取得資金	19,000,000	12,000,000	7,000,000
スポンサー制度支援金	500,000	0	500,000
特定資産合計	19,500,000	12,000,000	7,500,000
(3) その他固定資産			
什器備品	1,469,160	2,297,698	△828,538
ソフトウェア	2,196,764	3,124,819	△928,055
その他固定資産合計	3,665,924	5,422,517	△1,756,593
固定資産合計	144,246,074	140,576,067	3,670,007
資産合計	171,944,123	166,045,253	5,898,870
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,565,142	2,654,346	△89,204
預り金	122,594	114,567	8,027
前受金	1,750,000	750,000	1,000,000
他会計借入金	397,075	361,790	35,285
流動負債合計	4,834,811	3,880,703	954,108
負債合計	4,834,811	3,880,703	954,108
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	111,426,800	113,000,200	△1,573,400
出捐金	110,926,800	113,000,200	△2,073,400
受取寄附金	500,000	0	500,000
(うち基本財産への充当額)	(110,926,800)	(113,000,200)	(△2,073,400)
(うち特定資産への充当額)	(500,000)	(0)	(500,000)
2. 一般正味財産	55,682,512	49,164,350	6,518,162
(うち基本財産への充当額)	(10,153,350)	(10,153,350)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(19,000,000)	(12,000,000)	(7,000,000)
正味財産合計	167,109,312	162,164,550	4,944,762
負債及び正味財産合計	171,944,123	166,045,253	5,898,870

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,293,000	1,293,000	0
基本財産受取利息	1,293,000	1,293,000	0
事業収益	52,662,712	54,773,507	△ 2,110,795
指定管理事業収益	45,833,333	45,833,333	0
観覧料収益	2,698,000	3,651,280	△ 953,280
美術品撮影料金等収入	44,240	283,360	△ 239,120
図録等販売収益	3,942,139	4,951,534	△ 1,009,395
グッズ等売上収益	2,660,009	3,173,114	△ 513,105
図録販売収益	1,282,130	1,778,420	△ 496,290
講座受講料収益	145,000	54,000	91,000
特定資産運用収益	300	0	300
特定資産受取利息	300	0	300
受取補助金等	3,800,000	6,300,000	△ 2,500,000
受取地方公共団体補助金	3,800,000	4,300,000	△ 500,000
受取国庫補助金	0	2,000,000	△ 2,000,000
受取負担金	1,500,000	1,500,000	0
受取負担金	1,500,000	1,500,000	0
雑収益	61,351	48,199	13,152
受取利息	273	270	3
雑収益	61,078	47,929	13,149
経常収益計	59,317,363	63,914,706	△ 4,597,343
(2) 経常費用			
事業費	48,930,546	51,944,212	△ 3,013,666
給料手当	0	1,172,475	△ 1,172,475
任用雇賃金	14,232,450	13,904,297	328,153
退職給付費用	0	30,000	△ 30,000
福利厚生費	2,269,705	2,470,975	△ 201,270
旅費交通費	148,150	3,000	145,150
通信運搬費	442,574	560,444	△ 117,870
備品購入費	371,870	325,196	46,674
消耗品費	1,097,705	1,903,046	△ 805,341
修繕費	1,184,700	2,038,280	△ 853,580
印刷製本費	1,856,855	1,884,621	△ 27,766
燃料費	10,959	10,529	430
光熱水料費	6,608,051	6,214,642	393,409
賃借料	4,093,708	1,745,920	2,347,788
保険料	169,710	31,568	138,142
諸謝金	605,400	266,000	339,400
租税公課	2,548,920	2,767,700	△ 218,780

科 目	当年度	前年度	増減
食糧費	41,578	37,192	4,386
委託費	8,120,069	10,556,228	△ 2,436,159
広告宣伝費	1,604,167	1,882,797	△ 278,630
手数料	116,336	114,688	1,648
新聞図書費	80,421	90,145	△ 9,724
商品仕入費	1,298,856	2,059,526	△ 760,670
減価償却費	1,968,343	1,850,609	117,734
雑費	60,019	24,334	35,685
管理費	3,868,655	3,872,174	△ 3,519
役員報酬	219,000	123,000	96,000
任用雇賃金	1,141,800	1,101,450	40,350
福利厚生費	171,205	196,629	△ 25,424
通信運搬費	119,951	135,363	△ 15,412
消耗品費	97,834	155,856	△ 58,022
印刷製本費	130,064	154,947	△ 24,883
光熱水料費	426,730	403,155	23,575
賃借料	433,344	453,216	△ 19,872
報酬	366,515	400,319	△ 33,804
支払負担金	72,000	65,000	7,000
委託費	550,907	535,629	15,278
手数料	133,705	139,810	△ 6,105
租税公課	600	7,800	△ 7,200
雑費	5,000	0	5,000
経常費用計	52,799,201	55,816,386	△ 3,017,185
評価損益等調整前当期経常増減額	6,518,162	8,098,320	△ 1,580,158
当期経常増減額	6,518,162	8,098,320	△ 1,580,158
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,518,162	8,098,320	△ 1,580,158
一般正味財産期首残高	49,164,350	41,066,030	8,098,320
一般正味財産期末残高	55,682,512	49,164,350	6,518,162
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	500,000	0	500,000
基本財産評価損益等	△ 2,073,400	△ 375,300	△ 1,698,100
当期指定正味財産増減額	△ 1,573,400	△ 375,300	△ 1,198,100
指定正味財産期首残高	113,000,200	113,375,500	△ 375,300
指定正味財産期末残高	111,426,800	113,000,200	△ 1,573,400
III 正味財産期末残高	167,109,312	162,164,550	4,944,762

正味財産増減計算書（内訳表）
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 一般正味財産の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,293,000				1,293,000
基本財産受取利息	1,293,000				1,293,000
事業収益	49,449,877	4,476,539		△ 1,263,704	52,662,712
指定管理事業収益	45,833,333				45,833,333
観覧料収益	2,698,000				2,698,000
美術品撮影料金等収入	44,240				44,240
図録等販売収益	729,304	4,476,539		△ 1,263,704	3,942,139
グッズ等売上収益		3,194,409		△ 534,400	2,660,009
図録販売収益	729,304	1,282,130		△ 729,304	1,282,130
講座受講料収益	145,000				145,000
特定資産運用収益	300	0	0		300
特定資産運用収益	300	0	0		300
受取補助金	0	0	3,800,000		3,800,000
受取地方公共団体補助金	0	0	3,800,000		3,800,000
受取負担金	1,500,000				1,500,000
受取負担金	1,500,000				1,500,000
雑収益	38,173	23,178			61,351
受取利息	255	18			273
雑収益	37,918	23,160			61,078
経常収益計	52,281,350	4,499,717	3,800,000	△ 1,263,704	59,317,363
(2) 経常費用					
事業費	45,722,530	4,471,720		△ 1,263,704	48,930,546
任用雇賃金	12,446,250	1,786,200			14,232,450
福利厚生費	2,244,895	24,810			2,269,705
旅費交通費	148,150				148,150
通信運搬費	367,838	74,736			442,574
備品購入費	371,870				371,870
消耗品費	1,097,705				1,097,705
修繕費	1,184,700				1,184,700
印刷製本費	1,856,855				1,856,855
燃料費	10,959				10,959
光熱水料費	6,520,050	88,001			6,608,051
賃借料	4,093,708				4,093,708
保険料	169,710				169,710
諸謝金	605,400				605,400
租税公課	2,239,920	309,000			2,548,920
食糧費	41,578				41,578

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
委託費	8,045,462	74,607			8,120,069
広告宣伝費	1,604,167				1,604,167
表彰費	534,400			△ 534,400	0
手数料	30,130	86,206			116,336
新聞図書費	80,421				80,421
商品仕入費		2,028,160		△ 729,304	1,298,856
減価償却費	1,968,343				1,968,343
雑費	60,019				60,019
管理費			3,868,655		3,868,655
役員報酬			219,000		219,000
任用雇賃金			1,141,800		1,141,800
福利厚生費			171,205		171,205
通信運搬費			119,951		119,951
租税公課			600		600
消耗品費			97,834		97,834
印刷製本費			130,064		130,064
光熱水料費			426,730		426,730
賃借料			433,344		433,344
報酬			366,515		366,515
委託費			550,907		550,907
支払負担金			72,000		72,000
手数料			133,705		133,705
雑費			5,000		5,000
経常費用計	45,722,530	4,471,720	3,868,655	△ 1,263,704	52,799,201
評価損益等調整前当期経常増減額	6,558,820	27,997	△ 68,655	0	6,518,162
当期経常増減額	6,558,820	27,997	△ 68,655	0	6,518,162
2. 経常外増減の部					
当期経常外増減額					
他会計振替前当期一般正味財産増減額	6,558,820	27,997	△ 68,655	0	6,518,162
他会計振替額			0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,558,820	27,997	△ 68,655	0	6,518,162
一般正味財産期首残高	43,393,747	4,418,740	1,351,863		49,164,350
一般正味財産期末残高	49,952,567	4,446,737	1,283,208		55,682,512
II 指定正味財産増減の部					
受取寄附金	500,000	0	0	0	500,000
基本財産評価損益等	△ 2,073,400	0	0	0	△ 2,073,400
当期指定正味財産増減額	△ 1,573,400	0	0	0	△ 1,573,400
指定正味財産期首残高	113,000,200	0	0	0	113,000,200
指定正味財産期末残高	111,426,800	0	0	0	111,426,800
III 正味財産期末残高	161,379,367	4,446,737	1,283,208	0	167,109,312

財務諸表に対する注記

1 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債権並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券

①時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について

貯蔵品・・・・・最終仕入原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却について

什器備品・・・・・定率法による減価償却を実施している。

ソフトウェア・・・・・定額法による減価償却を実施している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 会計方針の変更

該当なし。

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
第32回東京都公募公債	113,000,200	0	2,073,400	110,926,800
美術作品	10,153,350	0	0	10,153,350
特定資産				
美術作品取得資金	12,000,000	7,000,000	0	19,000,000
スポンサー制度支援金	0	500,000	0	500,000
合 計	135,153,550	7,500,000	2,073,400	140,580,150

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
第32回東京都公募公債	110,926,800	110,926,800	0	0
美術作品	10,153,350	0	10,153,350	0
特定資産				
美術作品取得資金	19,000,000	0	19,000,000	0
スポンサー制度支援金	500,000	500,000	0	0
合 計	140,580,150	111,426,800	29,153,350	0

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	10,456,806	8,987,646	1,469,160
ソフトウェア	4,640,280	2,443,516	2,196,764
合 計	15,097,086	11,431,162	3,665,924

7 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし。

8 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 中山道広重美術館事業	恵那市	0	3,800,000	3,800,000	0	
合計		0	3,800,000	3,800,000	0	

9 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一部を運用益によって賄うため、債券により資産運用をする。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

金融商品の内容は、債券であり、発行体の信用リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①会計処理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の会計処理規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項なし。

11 関連当事者との取引の内容

該当事項なし。

12 重要な後発事象

該当事項なし。

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載。

2 引当金の明細

引当金は計上していない。

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許保管	運転資金の用に供している	161,500
現金預金	現金預金	運転資金の用に供している	21,122
預金	普通預金 十六銀行	運転資金の用に供している	15,440,388
未収金		公益目的事業 事業の未収入金	177,657
立替金		収益事業 事業の未収入金	18,847
貯蔵品	図録、パンフレット	公益目的事業 事業の貯蔵品	
	販売用商品	収益事業 販売用商品	11,481,460
他会計貸付金		他会計への貸付金	397,075
流動資産合計			27,698,049
(固定資産)			
基本財産			
債券	第32回 東京都公募 公債 野村証券岐阜 支店	公益目的保有財産であり公益目的事 業の財源として使用している	110,926,800
美術作品	美術作品	公益目的保有財産であり公益目的事 業に供している不可欠特定財産であ る	10,153,350
基本財産合計			121,080,150
特定資産			
美術作品取得 資金	普通預金(十六) 定期預金(十六)	美術作品の取得資金として積み立てて いる資産であり、資産取得資金として 管理している	7,000,000 12,000,000
スポンサー制 度支援金	普通預金(十六)	スポンサー制度に対する支援金(寄附 金)であり寄附者の定めた用途に充てる ために保有している資金	500,000
特定資産合計			19,500,000
その他固定資産			
什器備品	展示用可動壁等	公益目的保有財産として使用している	1,469,160
ソフトウェア	ナビルームソフト	公益目的保有財産として使用している	2,196,764
その他固定資産合計			3,665,924
固定資産合計			144,246,074
資産合計			171,944,123
(流動負債)			
未払金		各会計区分における費用の未払金、 未払消費税	2,565,142
預り金		所得税、雇用保険料、社会保険料、市 県民税	122,594
前受金		スポンサー負担金(5社・翌期分)	1,750,000
他会計借入金		他会計からの借入金	397,075
流動負債合計			4,834,811
負債合計			4,834,811
正味財産			167,109,312

その他の固定資産明細書

什器備品

(単位：円)

品名 取得年月日	取得価額	期首 残高	当期 増加額	当期減価償 却額	減価償却 累計額	差引期末残高
網戸 H13. 7. 10	262,500	1	0	0	262,499	1
もぎりテーブル H13. 9. 14	343,140	1	0	0	343,139	1
展示用可動壁 H13. 9. 17	1,793,085	1	0	0	1,793,084	1
展示用可動壁 H14. 5. 17	557,613	1	0	0	557,612	1
展示用可動壁 H15. 4. 7	281,400	1	0	0	281,399	1
展示用可動壁 H15. 12. 1	924,000	1	0	0	923,999	1
学芸用パソコン H26. 12. 14	223,560	1	0	0	223,559	1
スキャナー H28. 2. 18	364,716	1	0	0	364,715	1
講座室エアコン H28. 6. 15	572,400	84,872	0	42,563	530,091	42,309
デジタルプリンター H29. 2. 17	779,112	78,535	0	78,534	779,111	1
ビジネスホン H29. 5. 22	459,000	94,629	0	31,606	395,977	63,023
ブラインド H30. 9. 18	137,916	9,344	0	9,343	137,915	1
レジスター H30. 10. 7	137,916	39,720	0	15,888	114,084	23,832
タッチテーブル H30. 12. 27	486,000	101,250	0	101,249	485,999	1
HMDスタンド 1 H30. 12. 27	194,400	139,651	0	18,573	73,322	121,078
HMDスタンド 2 H30. 12. 27	194,400	139,651	0	18,573	73,322	121,078
ナビルーム彫師PC H30. 12. 27	140,400	29,250	0	29,249	140,399	1
ナビルームAR用PC H30. 12. 27	132,840	27,675	0	27,674	132,839	1
大判プリンター H31. 3. 29	524,858	182,651	0	73,060	415,267	109,591
駅前看板 R2. 4. 22	415,800	138,462	0	92,354	369,692	46,108
映像投影機 R2. 11. 10	1,320,000	1,232,000	0	492,800	580,800	739,200
パソコン (デザイナー用) R4. 3. 25	101,970	0	101,970	4,248	4,248	97,722
パソコン (事務用) R4. 3. 30	109,780	0	109,780	4,574	4,574	105,206
合計	10,456,806	2,297,698	211,750	1,040,288	8,987,646	1,469,160

ソフトウェア

(単位：円)

品名 取得年月日	取得価額	期首 残高	当期 増加額	当期減価償 却額	減価償却 累計額	差引期末残高
ナビルーム彫師用ソフト H30.12.27	855,798	456,427	0	171,159	570,530	285,268
ナビルームAR用ソフト H30.12.27	784,482	418,392	0	156,896	522,986	261,496
情報ギャラリー映像ソフト R2.1.28	3,000,000	2,250,000	0	600,000	1,350,000	1,650,000
合計	4,640,280	3,124,819	0	928,055	2,443,516	2,196,764

固定資産合計

(単位：円)

品名 取得年月日	取得価額	期首 残高	当期 増加額	当期減価償 却額	減価償却 累計額	差引期末残高
什器備品	10,456,806	2,297,698	211,750	1,040,288	8,987,646	1,469,160
ソフトウェア	4,640,280	3,124,819	0	928,055	2,443,516	2,196,764
合計	15,097,086	5,422,517	211,750	1,968,343	11,431,162	3,665,924

監査報告書

公益財団法人中山道広重美術館
理事長 長谷川 佳子 様

令和4年5月6日

公益財団法人中山道広重美術館

監事 柘植 麻美 (印)

監事 加藤 元章 (印)

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度における会計及び業務について、定款第25条の規定に基づき監査を行い、下記のとおり報告します。

1 監査方法及びその内容

- (1) 私たち監事は、理事及び事務局から業務の報告を受け、関係書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係わる事業報告について検討しました。
- (2) 私たち監事は、会計帳簿並びに関係書類の調査を行い、当該事業年度に係わる計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書について監査を実施いたしました。

2 監査結果

- (1) 計算書類及びその附属明細書、財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を適正に表示していると認めます。
- (2) 事業報告及びその附属明細書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。